第2学年　図画工作科

教科目標	
教科目標	①　進んで楽しみながら造ったり鑑賞したりすることに、ついての了意が有効のようにする。 ②　自然に親しみ、豊かな表現をすることで、自分自身の感性や知覚などを働かせるようにする。 ③　身の回りの作品などから、自然や美しさを感じ取るようにする。

月	単元・題材名	時数	学習活動	評価規準
4月	題材名なし 月ゃ星さがやめんる	4	1　材料を知ったり工夫したりしながら、楽しみな材料を組む。 2　思い思いに形になるように、切ったり、ちぎったり、組み合わせたりしながら作ります。 3　鑑賞者に喜ばれる、楽しんで鑑賞するパターンとその関係を見出すことができる。 4　自分の作品を見て、自分の作品の良さに気付いたり、よさを感じたりしたり、より良くしようとしたり、より良くしようとしたり、より良くしようとしたり、材料を知ったり工夫したりしながら、楽しみな材料を組む。 5	○　材料に関心をもち、進んで楽しみな材料を組んでいる。[関] ○　材料の使い方や組み方について工夫をしている。[技] ○　材料を組み合わせながら、思いや考えを表している。[思] ○　自分や友人の鑑賞を通して、材料を使う楽しさや表現のおもしろさに気付いている。[態] ○
5月	文の花咲き おりしたかさって	4	1　鑑賞者を含めて楽しく遊び合えるような雰囲気づくりを、進んでことができる空間を見付けようとする。 2　思い通りになるように、自分自身で考えながら作ったりする。 3　鑑賞者が楽しめるように、自分の作品を工夫しようとする。 4　自分の作品や友達の作品を見て、鑑賞者が楽しめるように、自分の作品を工夫しようとする。 5　つくった鑑賞者や作品を見せ合い、鑑賞者が楽しめるように、鑑賞者が楽しめるように、鑑賞者が楽しめるように